

第1学年 国語(書写)

第1学年の学習到達目標

- (1) 姿勢や用具の持ち方を正しくして丁寧に書くことができる。
 (2) 点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くことができる。

第1学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	①じをかくしせい ・はじめのれんしゅう	●正しい姿勢・鉛筆の持ち方でかく。 ●いろいろな線をかき、運筆に慣れる。	○正しい姿勢・鉛筆の持ち方 ○丁寧に書く態度 ○運筆に慣れること
	②ひらがなのれんしゅう	●平仮名の「止め」と「払い」の書き方を理解し、正しく書く。 ●筆順を理解し、筆順に従って書く。 ●文字の外形を理解し、外形に注意して書く。 ●横書きの書き方を理解する。	○平仮名の筆使い…「止め」「払い」 ○筆順の大原則…上から書く、左から書く ○字形の整え方…外形(真四角、縦長、横長) ○横書きは、左から右に書くこと
	③「まがり」と「おれ・おりかえし」「むすび」	●平仮名の「曲がり」と「折れ・折り返し」の書き方を理解し、正しく書く。 ●平仮名の「はね」の書き方を理解し、「はね」に注意して書く。 ●濁点と半濁点のある字の書き方を理解する。 ●平仮名の「結び」の書き方を理解し、「結び」の形に注意して書く。	○仮名の筆使い…「曲がり」「折れ・折り返し」 ○平仮名の筆使い…「はね」 ○濁点と半濁点の書く位置や筆使い ○平仮名の筆使い…「結び」(横長、縦長)
	☆なまえをかこう	●フェルトペンの持ち方を理解する。 ●既習事項を生かして丁寧に書く。	○フェルトペンの持ち方 ○既習事項を生かして、名前を丁寧に書くこと
	④ひらがなのひょう	●平仮名五十音を、筆順に従って丁寧に書く。 ●拗音の字の書き方を理解する。	○正しい姿勢・鉛筆の持ち方 ○平仮名五十音 ○拗音の字の大きさや書く位置
後期	⑤「とめ」「はらい」「はね」「おれ」「まがり」「そり」	●漢字の「止め」「払い」「はね」の書き方を理解し、正しく書く。 ●漢字の「折れ」と「曲がり」の書き方を理解し、正しく書く。 ●漢字の「反り」の書き方を理解し、「反り」に注意して書く。 ●片仮名の「折れ」と「曲がり」に注意して書く。	○筆使い…「止め」「払い」「はね」 ○筆使い…「折れ」「曲がり」 ○筆使い…「反り」
	⑥文字のかたち ・ひつじゅん	●筆順の大原則を理解し、筆順に従って書く。 ●間違いやすい筆順に注意して書く。	○筆順の大原則…上から書く、左から書くこと
	☆かきぞめをしよう	●正しいフェルトペンの持ち方で書く。 ●既習事項を生かして書き初めをする。 ●行末の句読点の書き方を理解する。	●正しいフェルトペンの持ち方で書く。 ●既習事項を生かして書き初めをする。 ●行末の句読点の書き方を理解する。

⑦かくのながさとほうこう	<ul style="list-style-type: none"> ●正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 ●画の長さの違いを理解し、画の長さに注意して書く。 ●画の方向の違いを理解し、画の方向に注意して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい姿勢・鉛筆の持ち方 ○字形の整え方…画の長さ ○字形の整え方…画の方向
⑧かん字のかきかた	●既習の漢字の筆使いをまとめ、正しく書く。	○筆使い…「止め」「払い」「はね」「折れ」「曲がり」「反り」
☆すきなことをつたえよう	●既習事項を生かして丁寧に書く。	○自分の好きなことについて書く際の書き方を理解し、既習事項を生かして丁寧に書くこと

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① 1年生の文字指導が、これからの学習の基礎となります。文字を正しく丁寧に書けるようになるには、まず、意欲を持って取り組むことが大切です。(行動観察)</p> <p>② 自分のよさを生かしたり、互いのよさを認め合ったりしながら、学習を深めることができるように工夫します。(自己評価・相互評価)</p> <p>③ 「止め」「はらい」「はね」字形など技能的な評価は、作品で行います。(ノート・ワークシート・プリントなど)</p>
--	--

特色ある学習方法

<p>子どもたちが主体的に学習が進められるように、意欲を持たせるための工夫をします。</p> <p>(1) ワークシート・プリントの工夫</p> <p>子供たちの興味のある絵やことばを入れ、楽しみながら学習できるように工夫します。</p> <p>(2) 評価の工夫</p> <p>手本と自分の作品を比べたり、作品を掲示し友達作品と比べたりしながら、自分の作品を見つめなおし、より向上するよう指導します。</p> <p>(3) 日常生活に生かす</p> <p>全教科にわたり、書く場面では、丁寧に正しく文字が書けるよう指導します。</p>
--

使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書 「新しい書写 1年」(東京書籍) ○ 手作りひらがなプリント、漢字ドリルをつかいます。 ○ 必要に応じて練習プリントを使います。 ○ 鉛筆は、濃いもの(B・2Bなど)を使います。 ○ 名前ペンを使うこともありますので、筆箱に常時入れておいてください。

留意事項

<p>(1) ひらがな・カタカナ・漢字の練習などを家庭学習に出します。1年生の始めから、丁寧に書く習慣を身につけさせたものです。習慣がつくまで、少し目をかけてあげてください。丁寧に書けていた時は、しっかりほめてあげてください。</p> <p>(2) 鉛筆は毎日点検し、削ってくるよう声かけをお願いします。</p>
--